

平成31年度 中央小学校家庭学習の手引き

学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着します。この「学習の手引き」をお子様と一緒にご覧いただき、家庭学習の手助けとしてご活用いただければ幸いです



1 家庭学習は、自分を高めるために行います。

家庭学習は、自分を高めるために行う学習です。

宿題と一人勉強を合わせて「家庭学習」とします。

宿題では、学校で勉強しているところに合わせて、音読・漢字・計算などに取り組みます。

- | | |
|--------|---|
| • 音読練習 | 正しい発音や、リズムを身につけることができます。
めあてをもって音読することにより、言葉や文、文章の様々な活用の仕方を身につけることができます。 |
| • 漢字練習 | 漢字を正しく読んだり、書いたり、使いこなしたりすることができるようになります。 |
| • 計算練習 | 繰り返し練習することで、計算が正しく速くできるようになります。 |

一人勉強では、**チャレンジ学習**（自分の苦手なこと）や**ワクワク学習**（もっと伸ばしたいこと・興味のあること）に取り組みます。チャレンジ学習やワクワク学習は、メニュー表を参考にして取り組みましょう。

2 家庭学習に取り組む意義

①自分の力を伸ばす

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。また、苦手な学習でも根気よく取り組むことによって、少しずつわかるようになります。更に、自分の興味のある学習に取り組むことにより、どんどん力を伸ばすことができます。

②脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に動くようになります。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。小学生のうちからどんどん鍛えていきましょう。

③学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて、当たり前前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

④がまん強さ、根気、集中力をつける

家庭学習の最大の敵はテレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。

⑤家族のふれあい

「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」、「勉強が分からない時、教えたり調べたりしてあげる」など、家庭学習をしている子どもに親が関わることにより、コミュニケーションがはかれます。家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

3 決まった時間に毎日コツコツと行う

家庭学習は毎日続けることが大切です。スポーツ少年団の活動や習い事等で予定が組みにくい日もあると思います。そんな時は、先に済ませるとか、テレビやゲームの時間を少なくするなど工夫も必要です。家族で十分話し合い、計画を立て実行してください。

4 集中して学習する

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。次に示す目安の時間以上取り組みます。（目安の時間は、あくまでも最低ラインです。）

毎日	低学年	20分～30分
	中学年	40分～50分
	高学年	60分～70分

5 家庭学習をしている時は、テレビを消す

テレビを見ながら、おやつを食べながらの「ながら勉強」は効果が上がりません。また、見たいテレビの音が聞こえるような環境も子どもは集中できません。静かに学習できる環境をつくるのが大切です。

6 整頓された場所で、よい姿勢で学習する

整頓された机に向かって、よい姿勢で学習するようにしましょう。マンガやゲームなど、気の散るものが近くにあると学習に集中できません。落ち着いて学習できる環境づくりを心がけたいものです。

7 子どものがんばりを認め、ほめて励ます

親が、子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信がつき、進んで学習しようという意欲が高まります。低学年（1～3年）では、丸つけをお願いいたします。間違いは、その時に直させるとよいです。

8 学力アップは規則正しい生活から

「早寝、早起き、朝ご飯」は、生活リズムの原則です。生活リズムを整えることが学力向上につながります。学校でも家庭でも、生き生きと学習に取り組めるよう規則正しい生活をおくりましょう。

※ 1年生は、入門期なので2学期の半ば頃までプリントを中心に取り組みます。



がくしゅうじかん

学習時間のめやす 1・2年生 20分～30分以上


ねん かていがくしゅう

1・2年の家庭学習

- よいしせいで、えんぴつを正しくもって、じぶんからすすんで やりましょう。
- しゅうちゅうしてていねいにやりましょう。
- がっぴとようびをかきましょう。
- ノートのつかいかたをくふうして、いろいろなべんきょうにチャレンジしましょう。

かていがくしゅう

家庭学習のやりかた

<p>こくご 国語</p>	<p>おんどく 音読</p> <ul style="list-style-type: none">• 点や丸に気をつけて大きな声で読む。• まちがえずに読む。 <p>ひらがな・カタカナ・かん字のれんしゅう（きょうかしよやドリルをみて）</p> <ul style="list-style-type: none">• かきじゅんに気をつけてかく。• かたちを気をつけてかく。• かん字をつかったことばや文を書く。 <p>ししや</p> <ul style="list-style-type: none">• きょうかしよを見て、ノートに正しくうつして書く。 
<p>さんすう 算数</p>	<ul style="list-style-type: none">• きょうかしよやドリルを見て計算をする。• きょうかしよやテストやプリントのもんだいを、もう一どやってみる。• 文章題をじぶんでつくってとく。（たし算やひき算、かけ算（2年生）をつかう。）• 時計（アナログ）を見て、何時何分か読む。• 九九のれんしゅうをする。（2年生）（書いたり、となえたりする）• きょうかしよにある「ほじゅうもんだい」をする。（2年生）
<p>にっき 日記</p>	<p>月日・よう日にかく。2年生はだいめいもつけてみよう。</p> <p>あそんだこと ぎょうじのこと 学校のこと みたこと おてつだいたことなど</p> <p>いちばんかきたいことを</p> <p>目 耳 はな 口 ころろ をはたらかせて</p>
<p>そのた</p>	<p>どくしよをしてかんそうを書く。</p> <p>「せいかつか」「おんがく」「ずこう」「どうとく」の きょうかしよをよんでノートにうつしたり、かんそうを書いたりする。</p> <p>*ほかにも 読むものは みのまわりにたくさんあるので、よんでうつしてみよう。</p>
<p>あしたのじゅんぴ</p>	<p>えんぴつをけずる。 きょうかしよ・ノートをそろえる。</p> <p>かていがくしゅうのノートやプリントをそろえる。（れんらくちょうをみて）</p>

学習時間のめやす 3・4年生 40分～50分以上

3・4年の家庭学習

・辞典じてんなどを使い、調べ学習をしましょう。

家庭学習のしかた

国語	<p>音読</p> <ul style="list-style-type: none">教科書の文章を声に出して正確<small>せいかく</small>に読む。様子を思いうかべて工夫して読む。教科書に出てきた詩や短歌、俳句<small>たんか はいく</small>を暗唱する。 <p>漢字練習</p> <ul style="list-style-type: none">学習した漢字をくり返し練習して、正確<small>せいかく</small>に書いたり読んだりする。一つの漢字のいろいろな読み方を練習する。新出漢字を使って、短文を作る。漢字辞典などを使って、新しい漢字の成り立ちを調べてまとめる。 <p>言葉のきまり</p> <ul style="list-style-type: none">国語辞典などで熟語の意味を調べる。ローマ字をくり返し書いたり、読んだりして覚える<small>おぼ</small>。 <p>日記</p> <ul style="list-style-type: none">伝えたい内容をわかりやすく書く。学習した言葉や漢字を使って書く。 <p>視写</p> <ul style="list-style-type: none">正しく、ていねいに、できるだけ速く書き写す。
算数	<ul style="list-style-type: none">学習した内容をドリルやプリントで復習<small>ふくしゅう</small>する。まちがえた問題を最後まで直す。学習した図形をかく練習をする。自分で問題を作って解いたり、考え方を図や言葉を使って説明<small>せつめい</small>したりする。
その他	<ul style="list-style-type: none">次に学校で学習するところを読んだり、覚えたり、考えたりする。(予習)学習したことでさらに興味<small>きょうみ</small>をもったことを調べたり、まとめたりする。聞き取り(買い物調べ、ゴミ調べなど)や観察<small>かんさつ</small>(生き物、天体など)をする。リコーダーの指づかいに気をつけて、きれいな音でふけるように練習する。



学習時間のめやす 5・6年生60分～70分以上

5・6年の家庭学習

・自分で課題を見つけ、学習課題を解決していきましょう。

家庭学習のしかた

国語	<p>音読・朗読</p> <ul style="list-style-type: none">教科書の内容をつかむため、ていねいに読む。キーワードを意識して読む。 <p>漢字練習</p> <ul style="list-style-type: none">正しく「読み」「書き」ができるように繰り返し練習して確実に覚える。一つの漢字のいろいろな読み方を練習する。国語辞典で学習した漢字の意味を調べたり、漢字辞典で漢字の成り立ちを調べたりする。 <p>言葉のきまり</p> <ul style="list-style-type: none">辞書を積極的に使用し、語いを増やす。敬語の使い方を覚える。 <p>日記</p> <ul style="list-style-type: none">自分でテーマを見つけて、学習した漢字を使って書く。
算数	<ul style="list-style-type: none">学習した内容をドリルやプリントで復習し、ノートやファイルに残す。学習した内容をもう一度ノートにまとめ直す。自分で作問し、自分で解く。いろいろな解き方に挑戦する。間違えた問題はどこが違うのかを考えて直す。
その他	<ul style="list-style-type: none">次に学校で学習するところを読んだり、覚えたり、考えたりする。（予習）学習した内容をノートにまとめ直す。（理科、社会など）学習した内容を研究し、深める。教科書や資料集を使って新聞作りをしてまとめる。テスト前に復習をする。

